

My Best Works

1. Introduction

4月から結婚式装花の現場で働く。内定先でインターンシップを行った時、結婚式はいかに短い時間できれいに正確に制作すること、ブーケ制作時、花をどこに入れば一輪一輪が生きてくるのかを瞬時に判断し制作すること、そして、お客様を想像以上に満足させなければいけないことなど、結婚式の仕事について様々なことを知った

その中で社長やベテランの方が制作されていたウエディングブーケのクオリティーに目を奪われた。私も皆さんのように早くきれいにお客様のイメージ通りのブーケを制作できるように、少しでも皆様の力になりたいと思った。

イメージ通りの作品を制作できる技術を習得するため「My Best Works」と題してテーマを決めてウエディングブーケ制作に取り組んだ。

2. Production

- (1)「煉獄杏寿郎」
- (2)「さんぽ」
- (3)「大和撫子」
- (4)「フェニックス1号」

3. Conclusion

一連の制作を通して、自分のイメージを形にする難しさ大変さを知った。基本的な技術はあるが、そこから花1輪1輪を最大限に生かす技術がなかった。特徴を知らない花がたくさんあり、色合わせや花合わせ、立体感の出し方、花の向きなど当たり前のことが、当たり前にできていなかった。

また、本来ならば咲き方や大きさを見て、茎の流れや曲がりを生かして、適した花を使用しないといけないのに、手に取った花から使用していくことが多かった。花の形、流れ、大きさ、色合いをしっかりと見極め、それぞれの花が生きる場所に適切に入れることの大切さを学び、自分の納得いく作品を少しずつ制作できるようになった。

そして、イメージ通りに制作できなかったり、イメージからかけ離れた作品になったり、イメージを形にすることがこんなにも難しく大変だと学んだ。何度も繰り返すうちに、イメージには近くなってきたが経験不足で、技術や知識が未熟で、まだまだ販売しお金をいただくには程遠いと感じた。

今後様々な形のブーケを制作するうえで、花1輪1輪を効率よく使用しお客様のイメージ以上のブーケを制作できるように努力したい。

